

□講義科目(導入科目)

科目名	私の研究テーマと研究方法	2 単位
担当教員	綿 祐二	
科目のねらい	この科目は、全研究科が合同で開講する大学院統一導入科目である。大学院で研究を始めようとする院生に本学の教員が取り組んでいる研究テーマやそれに応じた研究方法を紹介する。また社会連携の視点から一般市民の皆さん、これから研究者をめざそうとする方々、実務関係者、そして学部学生にも広く公開している。各教員がルー形式で、自分の研究テーマ、研究の背景、問題関心、研究方法、あるいは研究者としてたどった道筋などを解説する。扱う領域は福祉、心理、経営、開発、看護など多岐にわたる。本学教員の研究に直にふれることで研究の楽しさの一端を知るとともに、それぞれの研究の切り口へのガイドとしてほしい。	
授業の 進め方	4月10日(月)	
	6限 18:25-19:55	綿 祐二 オリエンテーション
	4月17日(月)	
	6限 18:25-19:55	鷲野明美 刑事司法とソーシャルワークの連携—高齢者犯罪への対応に関する日独比較研究—
	7限 20:05-21:35	斉藤雅茂 高齢者の社会的孤立の予防・軽減にむけた地域介入の実証・実装研究
	5月8日(月)	
	6限 18:25-19:55	吉村輝彦 これからの地域づくりをどのように捉えていくのか:実践と理論の往還
	7限 20:05-21:35	原田正樹 地域共生社会の思想と施策—地域福祉の視点から—
	5月22日(月)	
	6限 18:25-19:55	砂原美佳 法分野の国際協力—行政・評価研究の視点から
	7限 20:05-21:35	木全和巳 ソーシャルワーク実践理論における「エンパワメント」概念の批判的検討 —Jan Fook(2016)『ソーシャルワーカー—実践へのクリティカル・アプローチ』(第三版)を手がかりにしつつ—
	6月5日(月)	
	6限 18:25-19:55	末盛 慶 生活戦略概念の可能性とその活用—研究の進め方を学ぶ—
	7限 20:05-21:35	山田壮志郎 日本における貧困問題と生活保護
	6月19日(月)	
	6限 18:25-19:55	岡田由香 看護活動に資する研究の多様性 ～私の研究の歩み～
7限 20:05-21:35	小松理佐子 現代社会福祉における民生委員制度の意義	
7月3日(月)		
6限 18:25-19:55	福元理英 学習に困難のある子どもの理解と支援	
7限 20:05-21:35	大谷京子 スーパービジョンスキルの可視化	
7月10日(月)		
6限 18:25-19:55	新谷 司 新谷司著(2023)『ポスト実証主義の会計学』(中央経済社)の出版	
7限 20:05-21:35	保正友子 ソーシャルワーカーの実践能力評価指標と業務マネジメント～育て上手なソーシャルワーカーになるために～	
事前学習の内容 学習上の注意	講義ごとにコメント 用紙を提出すること。※nfujp 上に、講義日の翌日中に提出。	
テキスト	なし	
成績評価 方法と基準	小レポート 50 点、最終課題レポート 50 点で 100 点満点。60 点以上を合格とします。 小レポートは講義ごとに所定の様式で提出いただくものです。最終課題レポートは全 15 講義のうち、少なくとも 2 講義を選んで、それぞれについて(単なる感想でなく)「講義から学んだこと」を所定の用紙に 1 講あたり 1 枚に書いて、全 15 講義終了後に所定の方法で提出してください。	